

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	予防接種事業	会計名称	一般会計		担当課	健康増進課	
		予算科目	4 款 1 項 3 目	事業番号	2100	所属長名	大西昌治
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	大谷香代子	
法令根拠等	予防接種法				実施期間	【開始】	平成 18 年度
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 生涯にわたる健康づくり					【終了】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	予防接種の接種率を高め、疾病の発生及びびまん延を予防することで健康な状態を維持し、健康寿命の延伸を目指す。						
事業の対象	乳幼児、児童、65歳以上の高齢者			事業の目的	各種予防接種の実施により、伝染のおそれのある疾病の発生及びびまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与するとともに、予防接種による健康被害の迅速な救済を図ることを目的とする。		
事業の内容 (整備内容)	予防接種法上定められている疾病に対する予防ワクチン及び予防接種法に基づかない任意接種を医療機関に委託して個別接種を実施する。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	A類定期接種については、就学前や長期休暇前など接種行動を起こしやすい節目に合わせ、接種勧奨する。B類定期接種については、高齢者インフルエンザ委託料の統一に向け、県下市町で協議する予定。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	28年度実績	29年度予定	9月末の実績	29年度実績
直接事業費	94,556	93,616	△ 4,727	0	0	94,776	定期接種 (A類疾病) 接種者	人	6353	6600	3379	6292
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0	定期接種 (B類疾病) 接種者	人	8864	8800	836	8914
一般財源	94,556	93,616	△ 4,727	0	0	94,776						
職員の人工 (にんく) 数	1.45	1.45				1.45						
1人工当たりの人件費単価	8,086	8,017				8,017						
※ 直接事業費+人件費	106,281	105,241				106,401						
主な実施主体	一部委託		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		医療機関への委託料 (92,679千円)							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	5年間の合計		
					100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	500,000		
成果指標	指標	MR (麻しん・風しん) 2期予防接種の接種率			単位	区分年度	28年度	29年度	30年度	目標 毎年度		
					%	目標	100	100	100	100		
	指標設定の考え方	日本は麻しんの排除状態にあると認定されたが、近年、免疫を持たない年齢層での麻しん・風しんの流行がみられており、社会的に与える影響は大きい。標準的な時期にMR (麻しん・風しん) 予防接種を受けることで、麻しん・風しんの発症を防ぎ、重篤な後遺症や先天性風しん症候群の発生を無くすることができる。			⇒		実績	95	99.7			
	指標で表せない効果	重症疾患を持ち長期療養している方や保護者の考えにより接種されない方もあり、接種率を100%にすることは難しい。										

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		インフルエンザのワクチン供給が全国的に不足し、高齢者のインフルエンザの接種率が下がることが懸念される。通常の接種期間は10月15日～12月31日までとなっているが、接種期間を1月31日まで延長して対応を図る。 2歳未満の乳幼児は、継続的に予防接種を受ける機会があるが、年齢が上がると接種間隔が開いてくるため接種忘れがでてくる。							
事業	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5	合計点が	S	事業成果・工夫した点	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5	14～15 : S 10～13 : A 8～9 : B 5～7 : C 3～4 : D			
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4				
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4	合計点が	A		
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4	14～15 : S 10～13 : A 8～9 : B 5～7 : C 3～4 : D			
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5				
	効率性	手段の最適性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4	合計点が	A	事業の苦勞した点・課題	
			コスト効率	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	3	14～15 : S 10～13 : A 8～9 : B 5～7 : C 3～4 : D			
			市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	3				
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5	合計点が	S		事業の方向性
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5	14～15 : S 10～13 : A 8～9 : B 5～7 : C 3～4 : D			
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4				
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4	合計点が	A			
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4	14～15 : S 10～13 : A 8～9 : B 5～7 : C 3～4 : D				
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4					
効率性	手段の最適性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	3	合計点が	A	所属長の課題認識		
		コスト効率	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4	14～15 : S 10～13 : A 8～9 : B 5～7 : C 3～4 : D				
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	3					

子どもの予防接種のほとんどは、標準的な接種期間が就学前となっており、年長児に対し、年度初め、長期休暇前、就学時健康診断前、年度末など節目ごとに接種勧奨を行い、接種率向上に努めた。  
高齢者インフルエンザの接種期間を延長し、接種率向上を図った。

接種率向上のため、広報やホームページでの啓発、個別通知、電話や乳幼児健診場面での直接勧奨など様々な方法で接種勧奨しているが、保護者の考え等により、予防接種を受けない者も一部あり接種率100%にならないこともある。今後も接種忘れのないよう繰り返し接種勧奨を行う。

- 事業継続と判断する。
- 事業縮小と判断する
- 事業廃止と判断する

(判断の理由)

乳幼児及び高齢者の定期予防接種については、疾病予防と重症化予防を図ることを目的とし実施している事業であることから、事業継続と判断する。

乳幼児定期予防接種については、種類に応じ接種期間や回数等が定められているため、接種忘れのケースがあることから、更なる勧奨に努めていく必要がある。  
高齢者については、インフルエンザ (毎年) と肺炎球菌 (生涯1回) の予防接種に費用の一部を公費で負担しているが、この公費負担の割合が高くなってきているため、県下市町で構成している予防接種の協議会において、協議を行う必要がある。

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>
------------	------	---

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断議	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。	